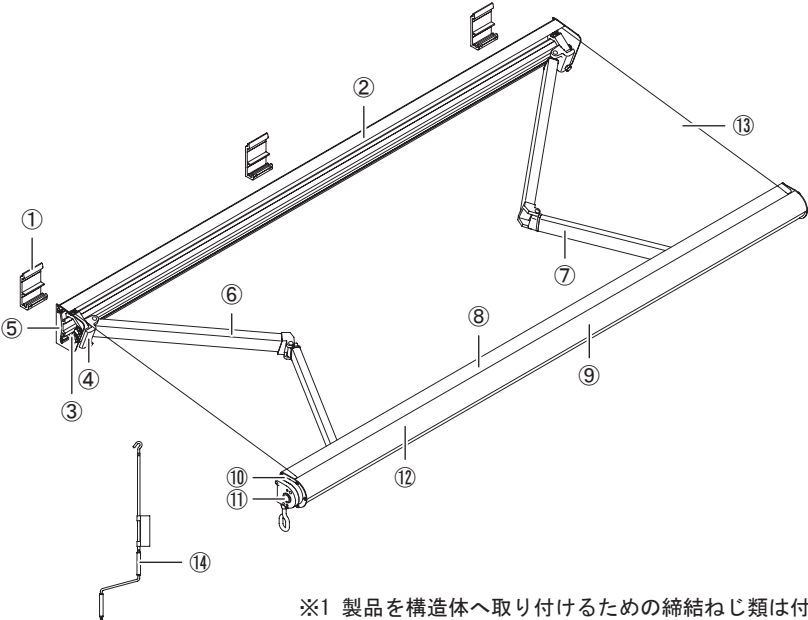


この度は「すずし〜の」をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。取り付けに際しては、本書を十分にお読みいただき、手順及び方法に必ず従って施工して下さいますようお願い致します。
又、誤った組み立て、取り付けによる破損、事故等に関しては保証の対象となりませんので予めご了承下さい。
施工完了後、添付の取扱説明書に必要事項を記入・説明の上、ご使用者又はお施主様へ必ず手渡しして下さい。

1 基本構成

1-1 主要部材名称

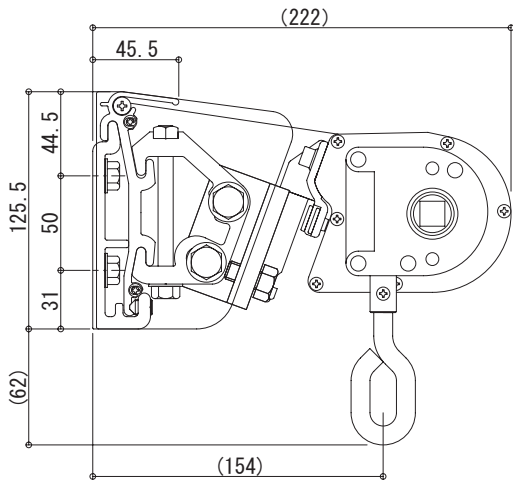


No.	名 称
①	取付ブラケット※1 ※2
②	ベースプレート
③	サイドブラケット
④	アームブラケット
⑤	側板
⑥	アーム（左）
⑦	アーム（右）
⑧	前枠
⑨	前枠カバー
⑩	前枠キャップ
⑪	手動ギア
⑫	巻取パイプ
⑬	キャンバス
⑭	クランクハンドル※3

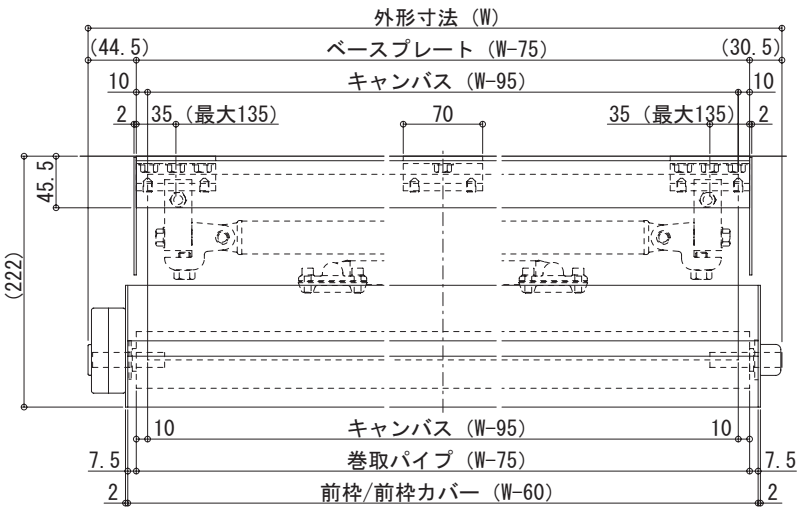
※1 製品を構造体へ取り付けるための締結ねじ類は付属されていません。
※2 ①取付ブラケットは間口規格 1.0 間、1.5 間で 2 個、2.0 間で 3 個使用します。
※3 ⑭クランクハンドルは標準でセットされます。サイズは 4 ページの表を参照して下さい。

1-2 納まり図

[1] 断面図



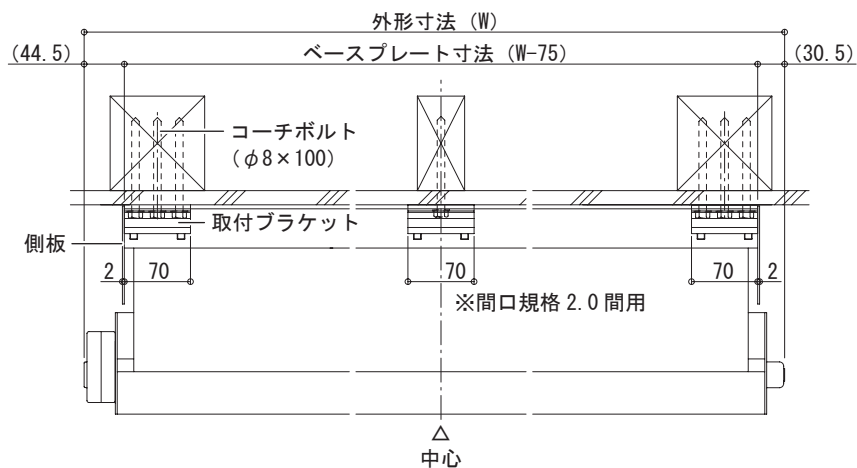
[2] 平面図



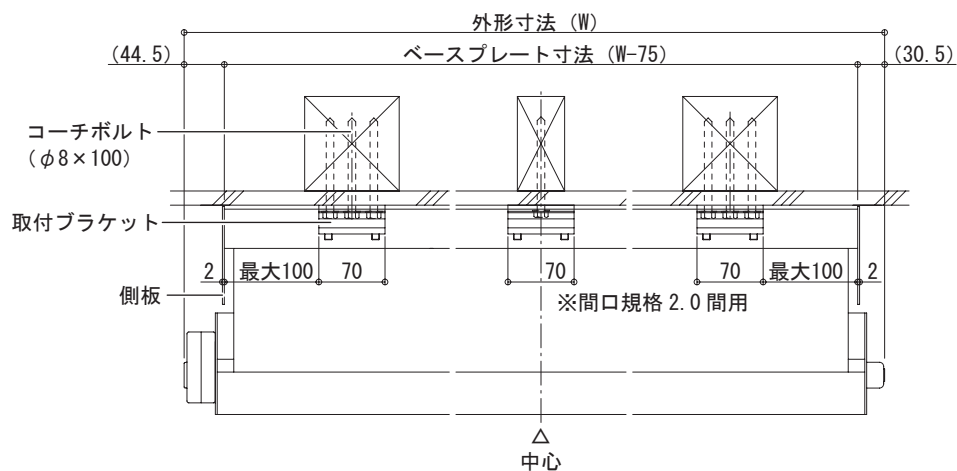
※図はキャンバス角度 15° 時での納まりです。キャンバス角度によって、前枠の納まり位置は変化します。
※() 寸法は、目安寸法となります。
※取付ブラケットは製品の重量及び使用に耐えられる構造体に直接取り付けて下さい。
※取付ブラケットは平らな面に取り付けて下さい。凹凸面に取り付けると取付ブラケット又はベースプレートの変形、取り付け面の変形により事故の原因となります。
※中央の取付ブラケットは間口規格 2.0 間の場合に使用。

1-3 取付ブラケット納まり図

[1] 取付ブラケットが標準位置に納まる場合



[2] 取付ブラケットが標準位置に納まらない場合



アーム 角度	1.5m	
	出巾	高さ
15°	1,535mm	555mm
20°	1,495mm	681mm
25°	1,444mm	803mm

※取り付け面の倒れ、キャンバスの重み、また張り出し操作時の状況によってはキャンバス角度が設定通りにならない場合もあります。

間口規格 (W)	アーム規格 (D)
	1.5m
1,930mm(1.0間用)	19.0kg
2,855mm(1.5間用)	25.5kg
3,780mm(2.0間用)	32.3kg

ベースプレート (W-75)

64.5mm以上

2 70 70 2

50.5mm以上

20mm以上

間口規格=外形寸法 (W)

壁内々寸法 (W+40mm以上)

取り付け場所は、一般の戸建て住宅及び1階店舗用を基準としております。高層ビルやマンションなどの風の影響を受けやすい場所への設置はお避け下さい。

[3] 取り付け高さ位置の設定

取り付け部分の上下に障害物がある場合は、取り付け位置に注意して下さい。

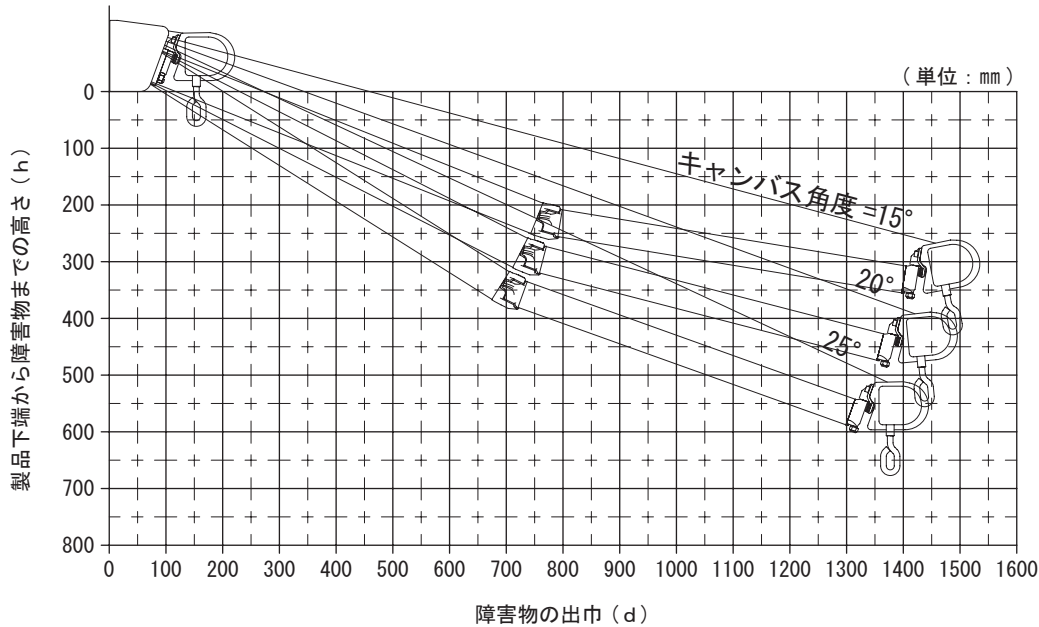
[上部に障害物がある場合]

製品上端と障害物下端との間を 20mm 以上確保して下さい。

[下部に障害物がある場合]

製品下端と障害物上端及び障害物の出巾を下記表を参考に確保して下さい。

障害物の出巾 (d) とキャンバス勾配によって高さ寸法 (h) は変わりますので、下記表を参考にして下さい。



2-4 手動ギアの操作

[1] 操作時の注意

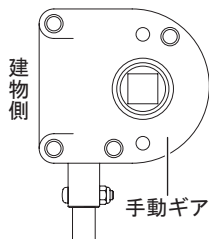
手動ギアは、クランクハンドルを使用してキャンバスの張り出し及び巻き取りを行う為のものです。張り出す際にクランクハンドルを廻し過ぎるとキャンバスがたるんでしまい、そのまま回転させるとキャンバスがシワとなり、更に巻取パイプの下側から巻き取られ、破損の原因となりますのでご注意下さい。張り出しの際、キャンバスがたるんだ場合には少し巻き取り方向にクランクハンドルを廻してキャンバスが「ピンツ」と張った状態で使用して下さい。

※手動ギアは消耗品です。交換時期は3年又は開閉3,000往復のどちらか早い方を目安に行って下さい。標準的な使用方法の場合で保証値ではありません。

※キャンバスを張り出す（巻き取る）には、クランクハンドルを約115回転させる必要があります。クランクハンドルの回転力は最大で1.1kg（トルク：0.2kg・m）です。

[2] 施工時の注意

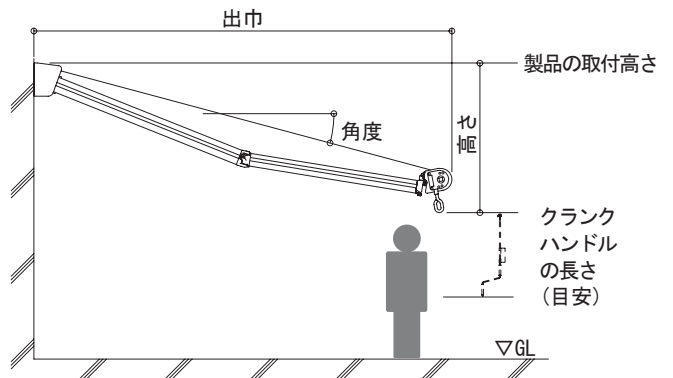
手動ギア本体は取り付け向きが決まっておりますのでご注意下さい。前後を逆に取り付けると張り出し・巻き取り操作時の回転方向が逆になり、誤操作の原因となりますのでご注意下さい。



[3] クランクハンドルの種類

表内の寸法はクランクハンドルの全長です。本体のクランクリングから、真下の位置に立った時のお腹までの距離と同じ位のサイズをご使用下さい。

規格サイズ	
大	2,200mm
特中	1,950mm
中	1,700mm
特小	1,450mm
小	1,000mm



3-1 取り付けの準備

[重要]

取付ブラケットは平坦で凹凸のない面に取り付けて下さい。また取付ブラケット裏面全てが接地面と密着するようにして下さい。

[1] 墨出し

部材寸法に注意し、取付ブラケットのレベル通りを墨出しして締結部品の位置をけがいて下さい。

[2] 下穴あけ

構造体及び締結部品を確認の上、適した下穴あけを行って下さい。

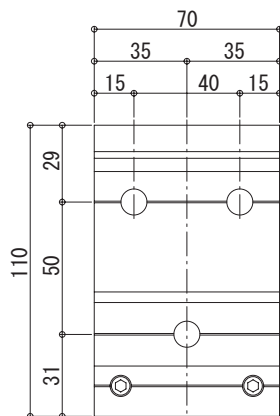
※アンカーを使用する場合は安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい。

参考締結部品一覧表

躯体	品種	サイズ	下穴径	使用本数（取付ブラケット1個当たり）
木造	コーチねじ	φ8×100	φ5.5	上部2本、下部1本
RC打放し	オールアンカー	M8×70	φ8.5	
RC打放し	グリップアンカー	M8×35	φ12.5	上部1本、下部1本
RC+モルタル等	アジャストアンカー	M8×70	φ12.5	

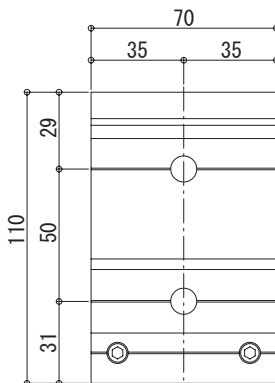
[3] 取付ブラケットの穴あけ

取付ブラケットに締結部品用の穴をあけて下さい。

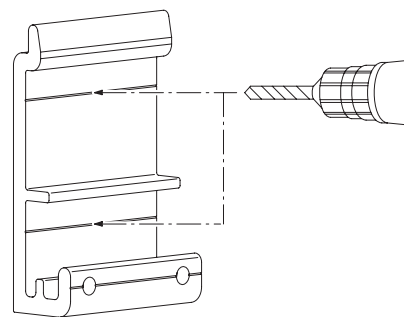


コーチねじ
オールアンカー

※2間間口の中央取付ブラケット
は2点止めでも可能

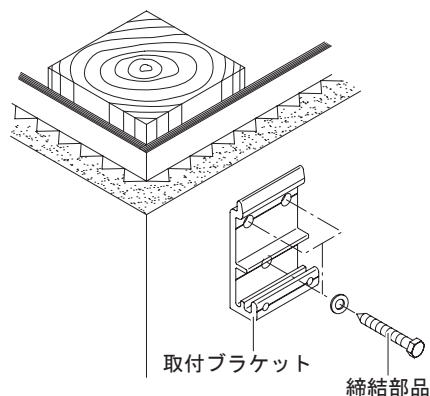


グリップアンカー
アジャストアンカー



※ドリルで穴あけする時は、下に
木材等を敷いて下さい。穴あけ
後、バリ取りを行って下さい。

3-2 取付ブラケットの取り付け

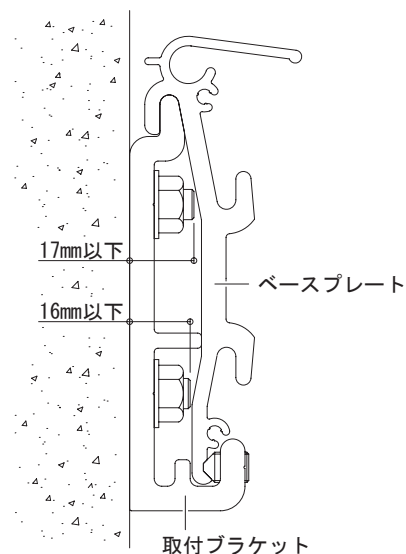


※取り付け位置は1～2ページを参考にして下さい。

※取付ブラケットは必ず水平になるように取り付けして下さい。

※1枚の取付ブラケットに対しての、締結個数は必ずお守り下さい。

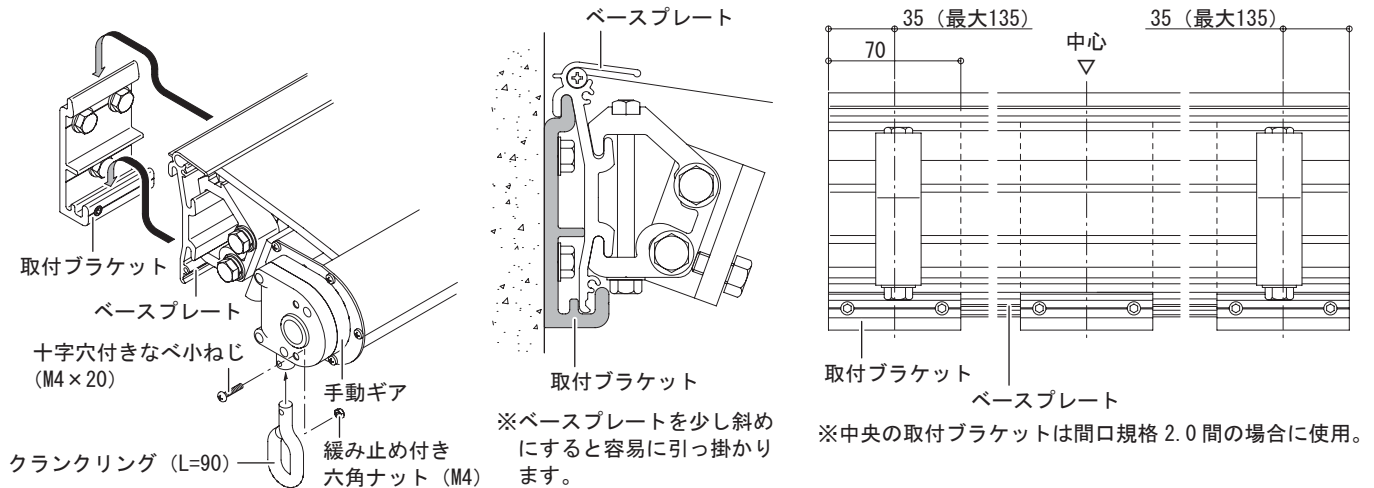
※取付ブラケットは重量及び使用に耐えられる構造体に直接取り付けして下さい。



※ボルト出しの場合、ボルト頭は
上記数値以内に納まるようにし
て下さい。

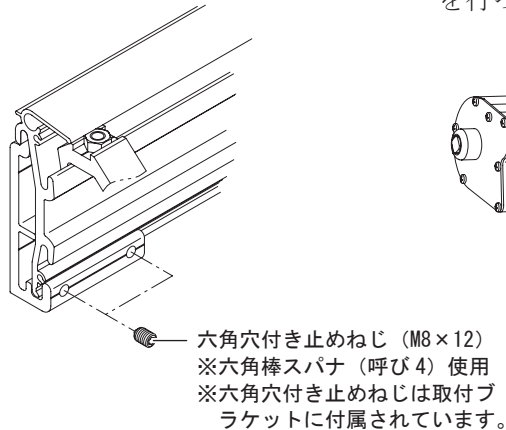
3-3 本体の取り付け

本体のベースプレート上部のミズを設置済みの取付ブラケットに引っ掛けて取り付けして下さい。取り付け後、手動ギアのクランクリングをなべ小ねじで取り付けして下さい。



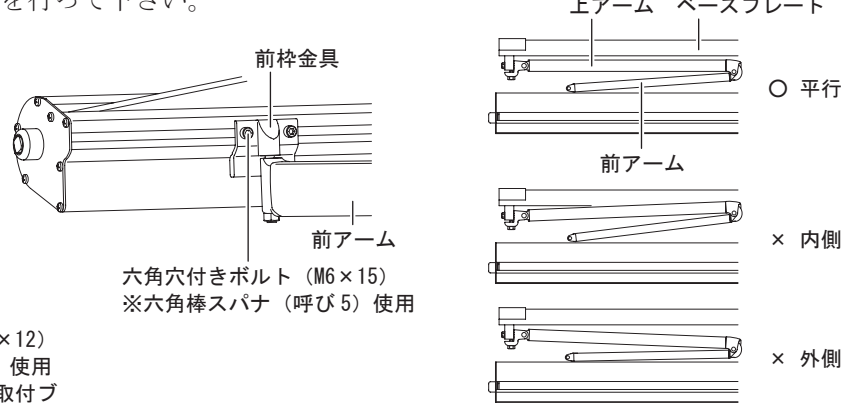
3-4 本体の固定

取付ブラケットとベースプレートを六角穴付き止めねじで固定して下さい。



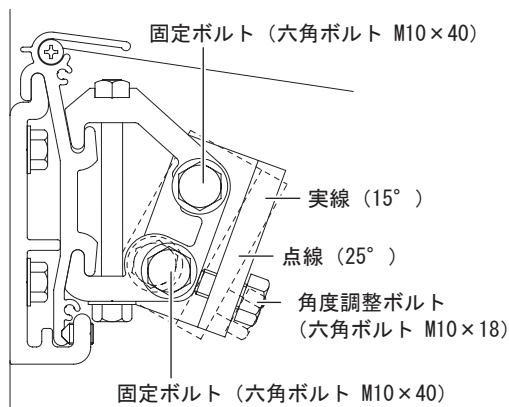
3-5 アーム位置の確認と調整

アーム位置の調整又はキャンパスの取り付け・交換等によりアーム位置がズレた場合は、前アーム先端の前枠金具を左右にスライドさせて調整を行って下さい。



3-6 アーム角度の調整

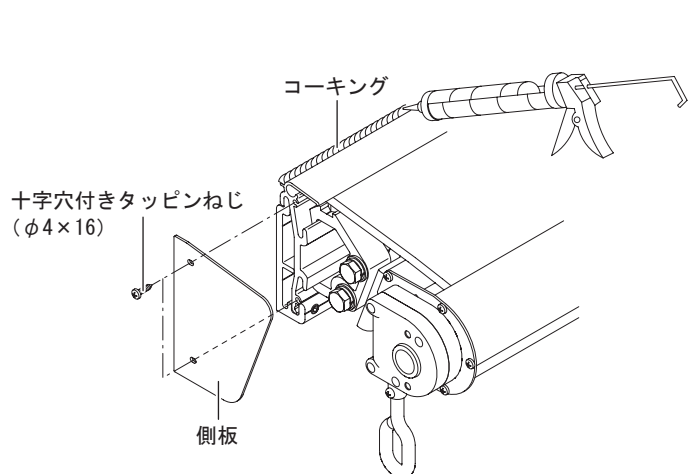
固定ボルト（2本）をゆるめ、角度調整ボルトを回して角度の調整を行って下さい。角度調整完了後、固定ボルトを締め付け直して下さい。



※各ボルトを回す際は、アームを支えながら（持ち上げながら）行うか、アーム（前枠）が収納された状態で行って下さい。

3-7 側板の取り付けとコーキング

側板をタッピンねじで固定した後、ベースプレートと壁面との間をコーキングして下さい。現場状況に応じてバックアップ材をご使用下さい。

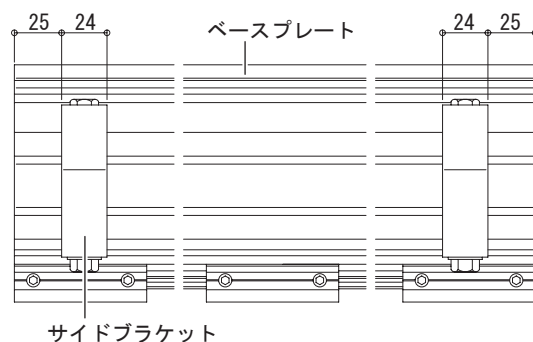
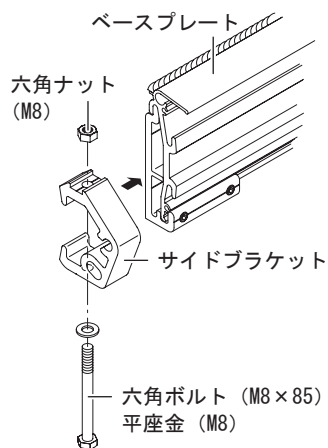


本ページより 9 ページまではメンテナンスを目的とした内容となっております。通常の取り付け方法をご理解して頂いた上でメンテナンス時の資料としてご使用下さい。
ベースプレートを取付ブラケットに取り付けた状態で記載していますが、施工しにくい場合はベースプレートを外して行って下さい。

4-1 サイドブラケットの取り付け

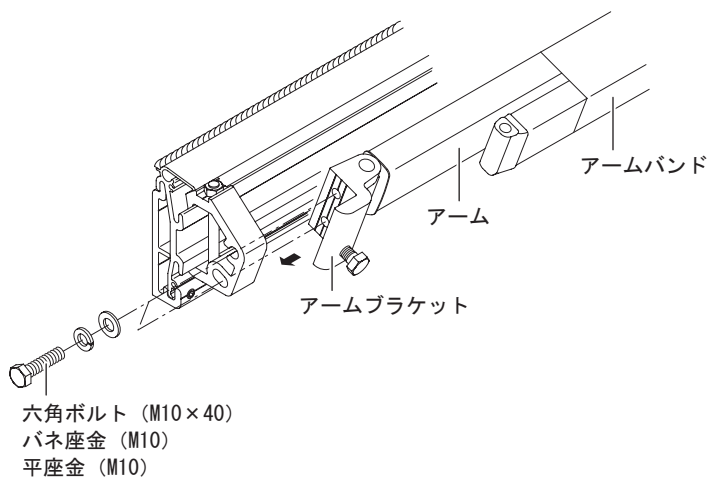
ベースプレート端部から 25mm の位置に、サイドブラケット（左右）をスライドさせてはめ込み、六角ボルトで固定して下さい。

※サイドブラケットのスライド時、シリコンプレー等を塗布すると、はめ込みやすくなります。



4-2 アームの取り付け

アームブラケットをサイドブラケットに六角ボルトで固定して下さい。



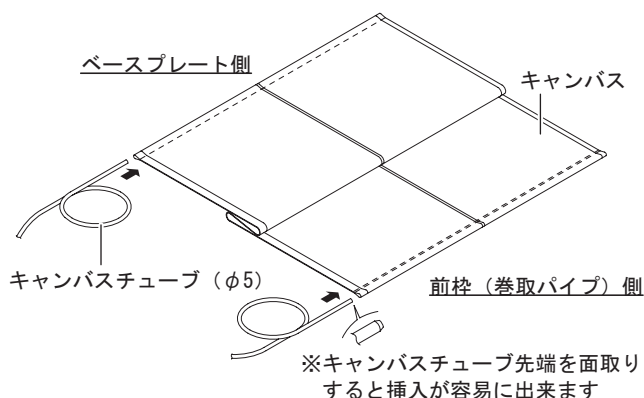
【注 意】

アームバンドをはずす時は十分注意して下さい。
強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手で押さえて下さい。



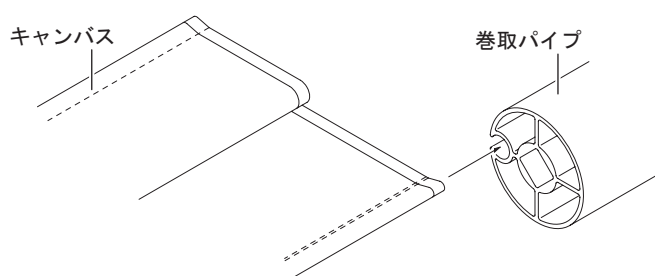
4-3 前枠の組み立て

[1] キャンバスにキャンバスチューブを挿入



[2] キャンバスの挿入

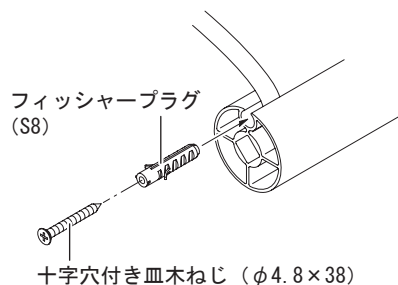
キャンバスチューブがセットされたキャンバスを巻取パイプに挿入して下さい。



[3] キャンバスの固定と巻き付け

左右のチリ（10mm ずつ）を合わせてから、フィッシャープラグで固定して下さい。固定後、巻取パイプへの巻き付け方向を確認の上、キャンバスを巻き付けて下さい。

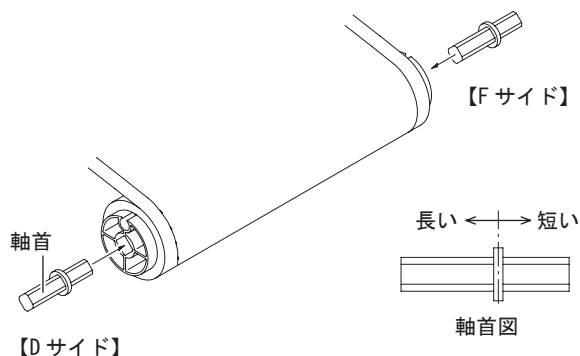
※キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切っておいて下さい。



[4] 軸首の取り付け

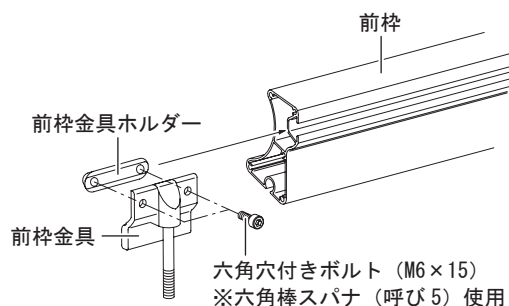
巻取パイプ両端に軸首を取り付けて下さい。

※Dサイドは「短い」方を、Fサイドは「長い」方を巻取パイプに挿入して下さい。



[5] 前枠金具の取り付け

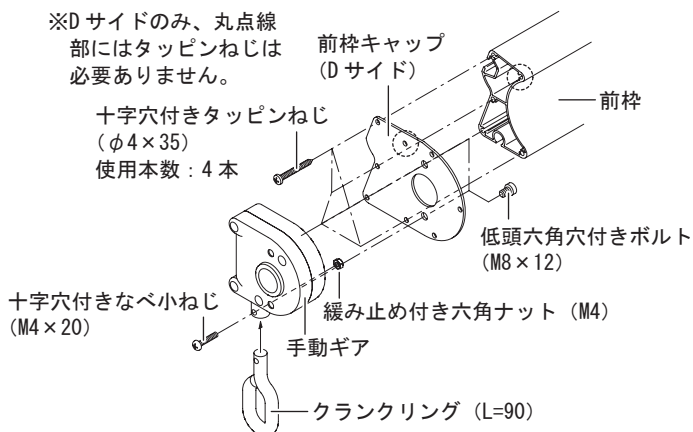
前枠に前枠金具ホルダーを挿入し、前枠金具を取り付けて下さい。この時点では前枠金具は仮固定としておいて下さい。



※前枠金具は①と②の2種類あります。(部品に刻印)
刻印①: 右アーム用
刻印②: 左アーム用

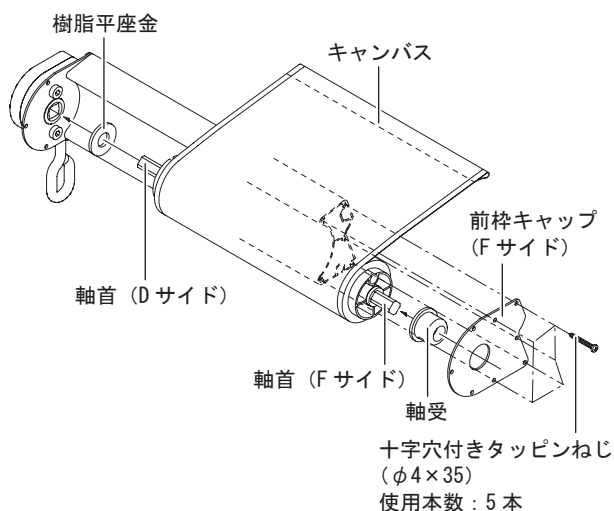
[6] 手動ギアの取り付け

前枠キャップを前枠にタッピンねじで取り付け、手動ギアを六角ボルトで前枠キャップに取り付けて下さい。取り付け後、手動ギアのクランクリングをなべ小ねじで取り付けして下さい。



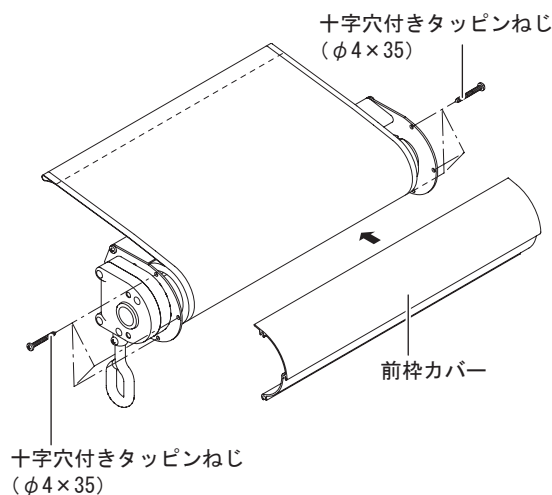
[7] キャンバスの組み込み

Dサイド側の軸首を手動ギアに挿入し、Fサイド側の前枠キャップを前枠にタッピンねじで固定して下さい。



[8] 前枠カバーの取り付け

前枠カバーを前枠にタッピンねじで取り付けして下さい。

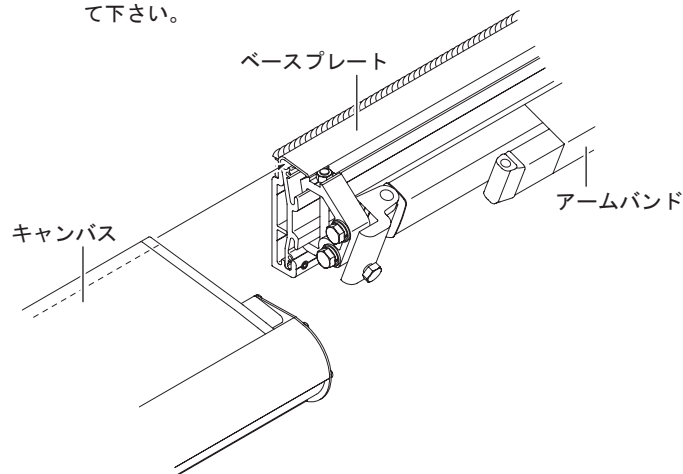


4-4 前枠の取り付け

[1] キャンバスの挿入

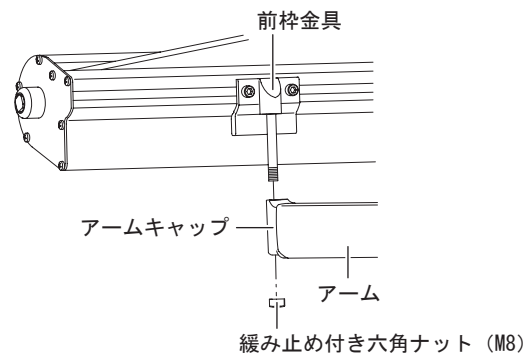
キャンバスチューブがセットされたキャンバスをベースプレートに挿入し、左右のチリ（10mm ずつ）を合わせて下さい。

※キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切っておいて下さい。



[2] 前枠金具のはめ込み

前枠金具をアーム先端のアームキャップに挿入し、六角ナットで固定して下さい。

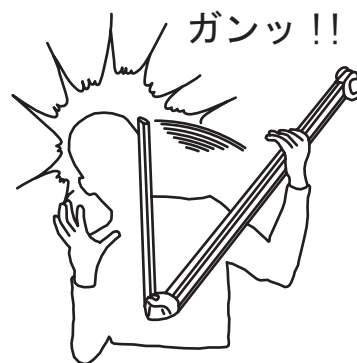


※前枠金具の位置はキャンバスが収納された状態で設定します。キャンバスが出た状態で設定するとアーム等が破損する場合があります。

※アームキャップは十字穴付きタッピンねじで固定されています。破損等で交換する場合は、プラスドライバーが必要です。使用ねじ：十字穴付きタッピンねじ（φ4×16）

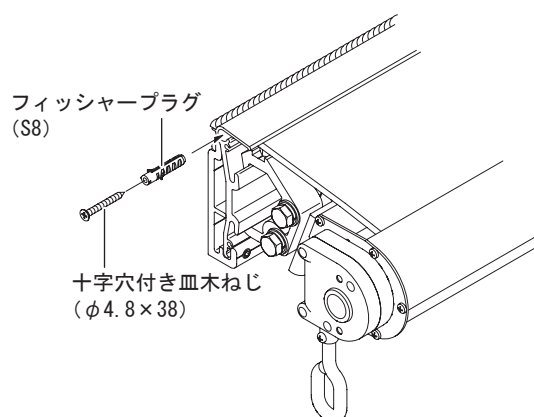
【注 意】

アームバンドをはずす時は十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手で押さえて下さい。



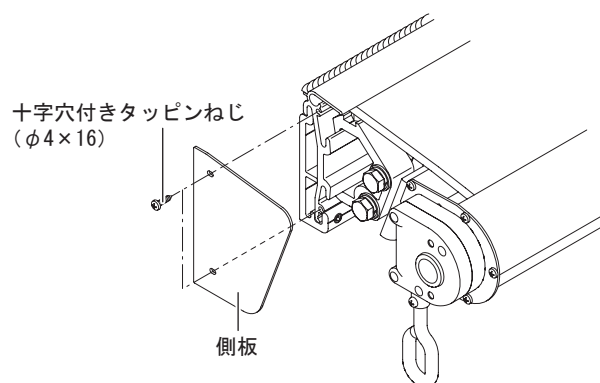
[3] キャンバスの固定

キャンバスをフィッシャープラグで固定して下さい。



4-5 側板の取り付け

側板をタッピンねじで固定して下さい。



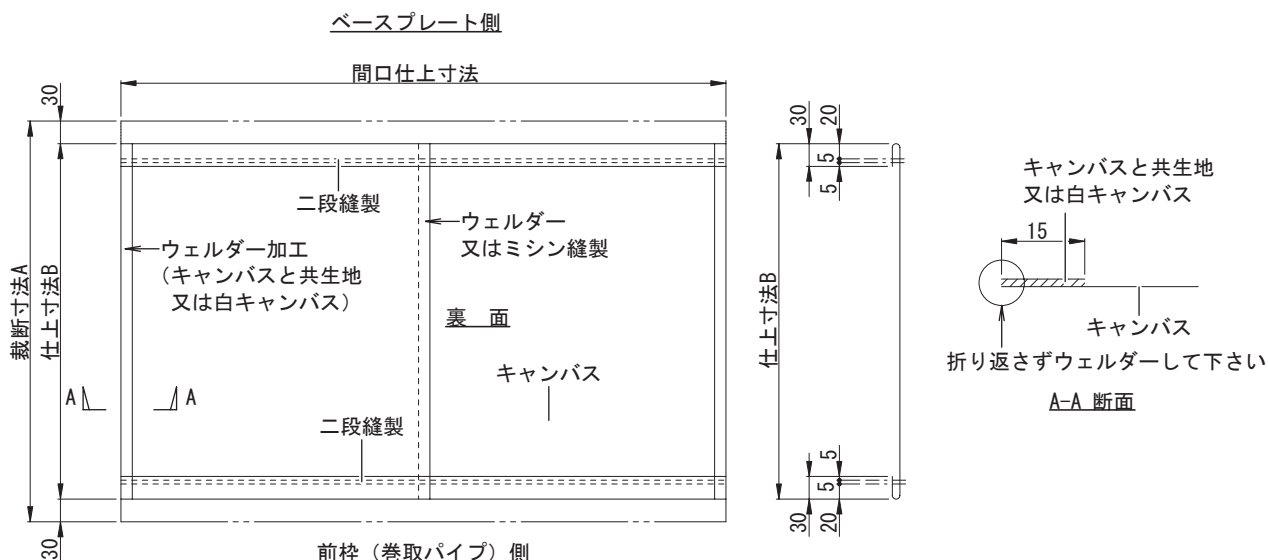
※側板のねじ穴は長穴となっていますので、現場状況に合わせて位置を調整して下さい。

5-1 キャンバス選定の注意 ※メンテナンス選定時の参考にして下さい。

- [1] 厚さ：0.45 mm以下
0.45 mmを超えると巻き太りやシワの発生又は部品との接触により破れ等の原因となります。
- [2] 重さ：500g/㎡以下
500g/㎡を超えるものを使用するとキャンバスがアームと擦れたり、たるみの発生により雨が溜まったりなどの原因となります。
- [3] 強度：約 70 kg /3 cm以上
引っ張り、引き裂き等の強度が低いものは適しません。強度が低いものを使用すると風や外力等を受けた時にキャンバスが損傷する可能性があります。
- [4] アクリルキャンバスの使用範囲
アクリル生地はウエルダー溶着が困難な為、ミシン縫製となり、縫製部分より雨水が漏れる場合があります。また、横つなぎでの使用は縫い目から裂ける恐れがありますので行わないで下さい。
- [5] ガラス繊維キャンバス
ガラス繊維生地は適しません。ガラス繊維はチューブの袋縫い部分や端部など折り曲げには弱く、ガラス繊維が折れてしまい、そこから破れる恐れがあります。
- [6] 柔軟性
柔軟性のあるキャンバスを使用して下さい。柔軟性のないものでは巻取パイプになじまずに巻き太りしてシワ等の原因となる場合があります。
- [7] 滑りやすさ
キャンバスを手で触ってべたつくような物は適しません。キャンバス同士がくっつき、シワ等の原因になる場合があります。

5-2 キャンバスの縫製

[1] 裁断と加工



※ウェルダー及びミシン縫製はツレ・シワが発生しないように注意して下さい。
 ※補修や補強を行う場合はウェルダー溶着及びミシン縫製と同じ方法で行って下さい。
 ※キャンバス仕上がり巾は伸びしろを考慮して製作して下さい。

[2] キャンバス寸法表

	15アーム
裁断寸法A	1,660mm
仕上寸法B	1,600mm

※間口仕上寸法に関しては1ページの納まり図を参考にして下さい。

点検ヶ所	点 検 項 目
取付ブラケット	取り付け場所に対して適正な締結部品で固定したか
	左右の取付ブラケットは水平に設置したか
	取り付け面の凹凸により、取付ブラケットがゆがんでいないか
	締結部品の緩み、締め忘れはないか
ベースプレート	取付ブラケットとの締結は適正か
	取り付け面の凹凸により、ベースプレートがゆがんでいないか
	締結部品の緩み、締め忘れはないか
	キャンバスの左右のチリは同じか
	キャンバスはフィッシャープラグで固定されているか
サイドブラケット	取り付け基準位置は適正か
	左右のサイドブラケットは斜めに取り付いていないか
	締結部品の緩み、締め忘れはないか
アーム	サイドブラケットへ適正に固定したか
	締結部品の緩み、締め忘れはないか
	キャンバス収納時、アームは前枠と平行に折りたたまれているか
	キャンバス張り出し時、前枠のレベル（水平）はとれているか
巻取パイプ	キャンバスの左右のチリは同じか
	キャンバスはフィッシャープラグで固定されているか
前枠	前枠金具の位置及びねじの締め付けは確実か
	手動ギアの取り付け向きは適正か
	手動ギアは確実に固定されているか
	前枠キャップ（Fサイド/Dサイド）の固定ビスは確実に止まっているか
	軸首の取り付け向きは正常か
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか
	キャンバスは巻取パイプの上側から巻き取られているか
	側板の固定ビスを確実に締め付けたか
	クランクリングの固定ボルトを確実に締め付けたか

株式会社 テンパル

<http://www.tenpal.co.jp>

本社/〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-9-12

東京 ☎03(5925)6579 横浜 ☎045(271)1151

大阪 ☎06(6264)5569 福岡 ☎092(433)6835

名古屋・広島・高松・鹿児島・仙台

- 表示内容は2011年6月現在のものです。
- 改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 初版/2011年6月